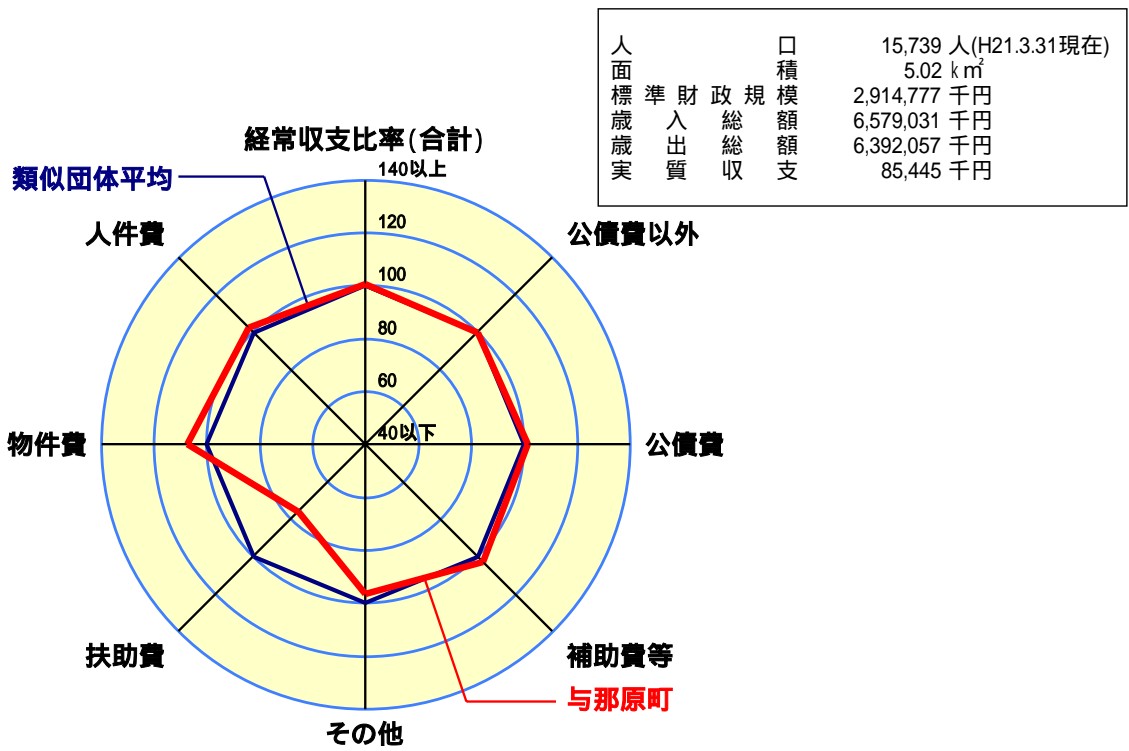
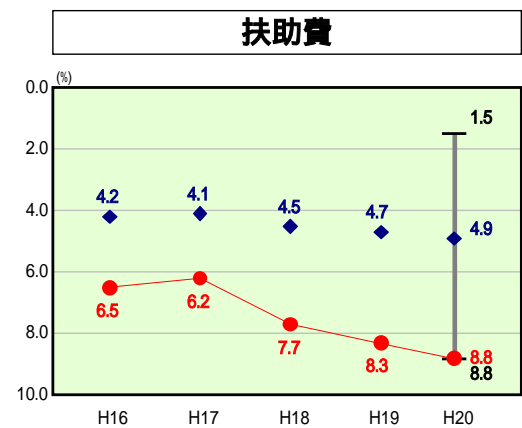
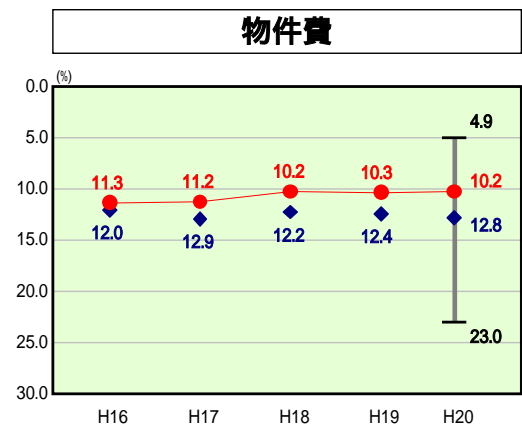
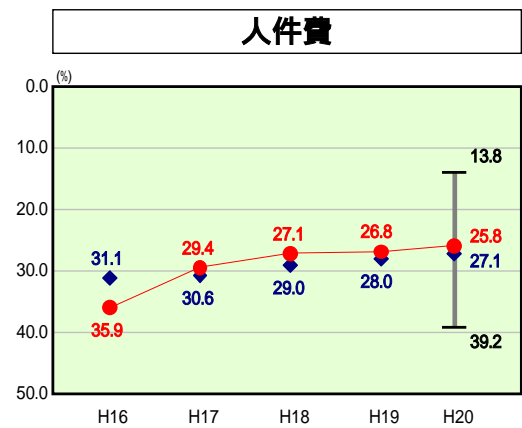
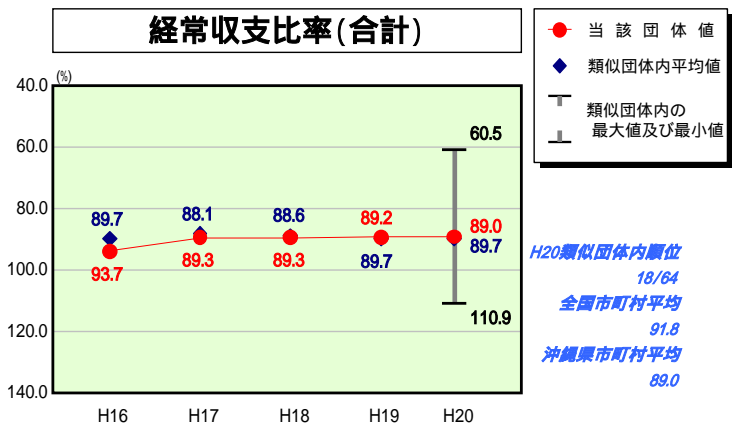


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

沖縄県 与那原町

経常収支比率の分析



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費・・・与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランに沿って定員管理、給与の適正化に努めており、類似団体平均より下回っている。今後も定員適正化計画に基づき、人件費抑制に努める。

物件費・・・与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランに沿って需用費等の減に努めているため、類似団体内平均よりもだいぶ下回っている。今後も集中改革プランに基づき需用費や委託料等の抑制を図り、財政健全化に努める。

扶助費・・・扶助費については、類似団体中最も高くなっているが、その要因として、介護・訓練等給付費や法人保育所運営費負担金が増えたため類似団体平均の乖離幅が増大した。今後も長引く不況等により扶助費は増加するものと思われる。

公債費・・・類似団体平均より下回っているが、今後埋立地域の整備事業への償還や、学校等の建替えも控えているので今後増加していくものと思われるので、後年度に及ぼす影響を考慮し財政運営に努めていきたい。

補助費・・・補助費は清掃組合への負担金が減ったため前年度よりは減少した。

その他・・・公共下水道への繰出金や国保への繰出金が増加したため類似団体平均より大きく上回った。今後国保税の適正化を図るなどし一般会計負担を軽減していくよう努める。

普通建設事業・・・普通建設事業は、埋立地域による基盤整備が進んでいるため類似団体平均より大きく上回っています。今後も学校等の改築等も予定されており、必要な事業を優先しながら適正規模の普通建設事業費になるよう努める。

